

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	初生子どもの家 てんし 第2てんし		
○保護者評価実施期間	2024年9月2日		2024年9月13日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	24名	(回答者数) 21名
○従業者評価実施期間	2024年 9月 10日		2024年 9月 13日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11名	(回答者数) 11名
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 9月 25日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもと保護者のニーズに合わせた支援計画。	子どもたち一人ひとりに合わせたプログラム作り。	更なる向上を目指した活動。 一人一人を成長させていくために細かな目標設定をしていく。
2	子どもの保護者からの相談や申し入れについての対応。 きちんと向き合う。	子どもたちや保護者からの声に耳を傾ける。 送迎中の会話、お迎え時の会話。	解決方法のノウハウ。 職員のスキルアップのための研修(対応の仕方や知識について)
3	活動が固定化されないように工夫している。	日々のミーティングの中で職員の指導統一をはかる。 子どもたちの現状把握	活動内容の充実。 新しいものを取り入れる知識や情報収集

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者会や保護者同士の繋がりや支援やサービスの提供。家庭への支援。	利用者が広域になり、集まる機会を設けるのが難しいため、父母会となると負担が大きい。	アンケート、意見交換の回数を増やし、集計、掲示する。集会をせずとも現状の把握ができるように伝えていく。
2	建物の構造、耐震性	築年数が経っている。 老朽化が進んでいる。	補強工事。リフォームなど。修繕工事。 定期的な点検。
3	外部との交流。(保育園、こども園、地域の方との交流。	下校時間のバラツキなどにより、平日は厳しい。	長期休みを利用し、外部との交流を試みる。 イベント行事に招待する。